

令和4年度第2回鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会 地域連携部会 会議録

日時： 令和4年10月14日（金） 午後2時から午後2時40分

場所： 鎌ヶ谷市役所地下1階 団体研修室

出席者： 星野里香（障がい福祉課課長）、三浦健（鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会会長）、菊地謙（同副会長）、荘司勝（障がい者の働くを支えるチーム）、渡辺博（地域資源を調査・研究しより良い方策を提言するチーム）、向井智之（障がい分野の情報を発信・啓発するチーム）、林恵利（医療的ケア児支援チーム）

※障がい者のつながりを支えるチームはチームリーダー未選出

欠席者 福田 弘子（精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム検討チーム）

事務局： 【鎌ヶ谷市障がい福祉課】遠藤主幹、高橋副主幹、稲葉主任主事

【鎌ヶ谷市基幹相談支援センターえがお】渡辺、岩室、坂巻

傍聴者： 0名

・ 本日の委員の出席者数と傍聴者数の報告

本日委員出席者7名出席のため、会議成立の定則数の過半数を超えている旨を報告。

・ 部会長挨拶

・ 委員自己紹介

1 地域連携部会について

事務局

資料をもとに鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会（以下「協議会」という。）の地域連携部会について、構成や役割などを説明した。

2 各テーマ別チームからの報告及び検討

部会長

各テーマ別チームの報告等について質問があれば、机の上に置いてある付箋に記載し事務局に提出するよう説明した。

(1) 障がい者の働くを支えるチーム

各事業所が何をしているのかわからない、ということから事業所の内容を具体化していくことが課題として挙げた。これから就労しようとしている方および事業所内の資料となるように、各事業所がどのようなサービスを提供しているか明確にする「各事業所情報シート」を作成する。

(2) 地域資源を調査・研究しより良い方策を提言するチーム

移動支援の活用に関して、通学・通所が困難な人がどのくらいいて、どうしているのかを調査するためのアンケートを実施した。平成27年度の調査資源の調査データとも併せて見えてきた課題は以下3点である。

- ① 移動支援における通所、通園、通学の線引きはどうするのか
- ② どこにスポットをあてたらよいか
- ③ 担い手の確保の困難さ

次回の11月のチーム会議ではファミリー・サポート・センターの関係者をお呼びして、実情や意見を伺う予定。

(3) 障がい者のつながりを支えるチーム

相談先が分からないことから、支援者向けの使いやすいフローチャート作っていく。現在、「支援者向けフローチャート（案）」ができたので、実際に使ってみて精査していく。さらに各メンバーで困難事例を出し合い、共通項を見いだしてフローチャートに反映し改良していく予定である。

(4) 障がい分野の情報を発信・啓発するチーム

令和元年度に実施予定であった障害平等研修を令和4年12月17日（土）南部公民館にて実施する予定。パラリンピックでも採用された研修であり、その時も活躍されたファシリテーターをお呼びして実施する。

オンライン開催も検討したが、講師に相談したところ、対面の方が研修効果は高いということから、感染予防に気を付けながら対面開催で行う予定である。

また、次回の鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会において、自立支援協議会の予算にある講師謝礼10万円を本研修に充てさせていただきたい。

(5) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム検討チーム

精神障がい者が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、まずは医療機関との連携が肝要である。①もともとつながっていなかった方をどうやって医療機関とつなげられるか、②退院したあとどうやって病院から地域に戻れるか、この二つがテーマであった。

- ① はすでにフォローチャートを作成し、自立支援協議会の本会議にて承認をもらった。
- ② は案を作成した。今後テスト使用をして、改良していく。

(6) 医療的ケア児支援チーム

医療的ケア児や障がい者の災害時の対応についてリーフレット等の作成を試みたが、医療的ケア児は対象の疾患や医療行為の個別性が高いため、市民向けのリーフレット等を作成するのは困難であることが分かった。まずは医療的ケア児に対する地域の方の理解を深めること、災害時に支援者側がどう対応したらよいかをまとめたマニュアル等を作成していく。

質疑応答

部会

障がい者のつながりを支えるチーム「支援者向けフローチャート（案）」の支援者とは、地域の民生委員等を含めて考えているか。

部会員

具体的にはこれから検討する。民生委員等に配るためには、わかりやすいように表現を工夫する必要がある。

3 次回鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会の議題について

事務局

自立支援協議会で以下3点を議題とする。

- ・各テーマ別チームの中間報告
- ・「障がい分野の情報を発信・啓発するチーム」が企画している障害平等研修の実施の提案および講師謝礼金の予算について
- ・日中サービス支援型共同生活援助における協議会の報告・評価

→ 異議なし

4 その他

事務局

令和4年11月13日実施の五本松小学校区防災訓練について説明した。障がい者が安心して過ごせる避難所づくりを目指しているので、参加の上、ご意見等をいただきたいとのこと。是非積極的に参加していただきたい。

部会長

ほかになければ、閉会とします。

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証するため次に署名する。

令和5年2月14日

氏名 荘司 勝

氏名 渡辺 博